

# 技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	部門
問題番号		選択科目	科目
答案使用枚数	1 枚目          枚中	専門とする事項	

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1	.	は	じ	め	に														
地球温暖化の進行に伴う気温の上昇等により、人類や生態系への深刻な影響が懸念されている。最近では、気候変動に関する IPCC の第 4 次評価報告書が公表され、人為起源の温室効果ガスの増加が温暖化の原因とほぼ断定された。																			
一方で国内の環境問題を見ると、閉鎖性水域で汚染の改善が進まず、自動車に起因する局地的な高濃度大気汚染等が依然として問題となっている。																			
第 3 次環境基本計画で政府が示したように、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済構造から早急に脱却して、循環型で持続的発展が可能な社会の形成が急務の課題である。																			
2 . 持続可能な社会実現のための課題																			
我が国が直面している持続的発展が可能な社会実現への重要な 3 つの課題とその概要を以下に述べる。																			
2 - 1 ) 水環境保全に関する課題																			
土壌汚染や地下水汚染を含めて水循環に関する課題を以下に列挙する。																			
・ 閉鎖性水域で富栄養化が進行し環境基準未達成地点が多い。アオコや赤潮の発生件数も増加している。																			
・ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染が進行している。																			
・ 土壌汚染判明事例件数が増加している。有害化学物質の地下浸透事例も多い。																			

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24 字×25 字



## 技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	部門
問題番号		選択科目	科目
答案使用枚数	3 枚目 枚中	専門とする事項	

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

3	－	2	)	課 題 解 決 の 方 向 性										
以下					の点に着目して解決策を模索する。									
・ 発 生 源 対 策 の 強 化														
・ 閉 鎖 性 水 域 で の 富 栄 養 化 改 善 対 策 の 実 施														
・ 土 壌 汚 染 防 止 の た め の 技 術 開 発														
・ 非 特 定 汚 染 源 に 関 す る 調 査 研 究														
3	－	3	)	課 題 解 決 へ の 貢 献										
私 は 環 境 測 定 分 野 の 技 術 者 と し て 次 に 述 べ る 点 で 積														
極 的 に 水 環 境 保 全 に 貢 献 し た い と 考 え る 。														
・ 発 生 源 や 公 共 用 水 域 の 監 視 強 化														
・ 閉 鎖 性 水 域 で の 窒 素 、 リ ン に 係 る モ ニ タ リ ン グ 調 査														
・ 効 果 的 な 監 視 計 画 の 立 案 と 実 施														
・ 土 壌 汚 染 の 未 然 防 止 の た め の 調 査														
・ 公 共 用 水 域 へ の 汚 濁 負 荷 流 入 の 解 明														
・ ノ ン ポ イ ン ト 汚 染 に 関 す る 調 査 と デ ー タ 収 集														
<u>4 . お わ り に</u>														
環 境 測 定 分 野 の 技 術 者 は 、 長 期 的 な 環 境 監 視 調 査 や														
緊 急 時 の 環 境 測 定 な ど 社 会 的 必 要 性 が 高 い 。														
上 記 の 貢 献 を す る に あ た り 、 精 度 管 理 の 保 証 さ れ た 正 確 な 測 定														
デ ー タ を 提 供 す る 使 命 が あ る と 考 え る 。														
社 会 的 倫 理 と 使 命 を 再 確 認 し て 、 今 後 の 技 術 研 鑽 と														
向 上 に 努 め た い と 考 え る 。														
以 上														

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24 字×25 字



# 技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	部門
問題番号		選択科目	科目
答案使用枚数	5 枚目 枚中	専門とする事項	

○受験番号，答案使用枚数，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

以下は感想です

<AM の環境一般>

10:00～12:30

=====

<試験本番>

- ・まず問題用紙の空きスペースに骨子記入、答案を練る。
- ・ある程度、事前に考えて覚えていた骨子文面の簡単な記載。
- ・次に、間に配置する「つなぎ文章」を書く。
- ・全体のバランスと配分を考える。

以上で 10:40 までかかった。

- ・慣れてないのもあり答案完成は、ぎりぎり 12:30 までかかった。
- ・最後はアセッてしまい、覚えていた締め文句も思い出せず。
- ・今回は、出題の想定外だった途中の「最重要課題の「理由」」でかなり悩んでしまう。

<反省点>

- ・試験終了後は、自分の知識不足で自己嫌悪に陥る。
- ・なお、この筆記再現答案は、気落ちした後に回復して 3 日目くらいに書き起こした答案事例です。
- ・若干、本番答案とは異なる部分があるかもしれません。
- ・細かいところでは、各ページの最下行にタイトル部分がこないようにする等の見栄えも気にしました。
- ・章立ての番号の書き方など、事前にかなり研究しましたが本番ではアセッて間違えたりした。だが結果的には合格だったので、そこまで細かいところは気にしなくても良いのかもしれない。

以上